

## 名古屋大学基金の活動に係るお知らせ

名古屋大学では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ホームカミングデイ、キャンパスコンサート、名大レクチャーなど、オンラインでの開催や、イベントによっては中止などの対応をとらざるを得ない状況が昨年度から続いております。

このように、依然として皆さまを大学にお招きしてご挨拶申し上げることもままならないところではございますが、皆さまに支えられた基金活動は継続して行っており、本学学生が充実した環境で学びに専念できるための支援をはじめ、各種特定基金活動の支援まで、寄附者さまの意向に沿った形で、そのご厚意を学内に還元いたしております。

今回、主にコロナ禍での基金事業展開につき、その一端をご紹介させていただきます。是非ともご高覧いただき、名古屋大学基金への益々のご理解を賜れましたら幸甚です。

名古屋大学基金担当副総長  
木村 彰吾

## Withコロナでのキャンパスライフ応援事業基金支援の現状

### Withコロナでのキャンパスライフ応援事業（基金）

### 2021年度の取組状況

名古屋大学では、本基金を活用し、学生へのさまざまな支援を行っています。その一例を学生の声と共にお届けいたします。

長期化するコロナ禍において、学生が安心して、安全・有意義なキャンパスライフを送ることができるよう大学としてサポートして参ります。

皆様方におかれましては、引き続き、学生へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 学生に寄り添う各種イベント等を実施

#### ① コロナ禍で会う機会が少ない学生に向けて、対面での交流会やバーチャルイベントを企画・開催

2年生以上の学生にアルバイトとして運営補助をしてもらい、地方から通う学生の交流の場として「同郷の会」を2回実施し、91名の新入生が参加しました。

#### 【学生の声】

「方言で話せてうれしかったです」  
「名古屋に知り合いもいなかったので、同じ出身の友達ができてよかったです！」



#### ② 就活や生活上の悩みや不安など、学生一人ひとりに寄り添う学生支援を実施

臨床心理士である相談員を1名雇用し、週に15人ほどの個別相談を実施しています。また、学生の所属学部・研究科と連携し、コロナ禍で心配な学生に連絡をとるなどのフォローも行っています。

#### 【学生の声】

「話せて元気になりました」  
「いろいろ解決策をアドバイスしてくれてありがとうございました」

#### ③ 運動部・サークルの活動や、名大祭などの学生行事を安心安全に行えるよう支援

各課外活動団体への感染対策の助言・指導、手指消毒液及び物品用消毒液の配付、継続して消毒液の補充などの活動支援を行っています。

## 留学生の渡日後の支援を実施

新規渡日の留学生に対し、日本到着時の国内移動や待機期間の不安等を解消するため、空港までの出迎えや宿泊費の一部補助、日用品の支給などの支援を行っています。

2021年8月末までに、新規渡日の留学生16名が名古屋へ無事到着しましたが、2021年10月入学者を含め、多くの留学生が渡日できていない状況です。今後の水際対策を注視しつつ、留学生の渡日支援に役立てさせていただきます。

### 【学生の声】



#### 昨年12月の支援について（スリランカ留学生Aさん）

スリランカの学生にとって日本の大学で高等教育を受けることは誉れ高く、私が文部科学省国費外国人留学生に選ばれたと分かったときは非常に嬉しかったです。

そんな最中、来日前に新型コロナウイルス感染症対策のため、検疫上、14日間の宿泊施設での待機が必要となり、成田空港周辺のホテル宿泊費とその間の食費等合わせて18万円ほどの費用が掛かりました。これは学生には安い金額ではありません。しかしながら、名古屋大学基金から7,800円×14日の渡日支援をいただくことができました。渡日してすぐの私にとって多大なサポートをいただいたわけです。今では研究に勤しむ毎日を送っています。「いつか私が学業を終え、社会に出て就職した暁には、私ができる何らかの形で次の世代の学生に支援をしたい」と思わせてくださいました。ありがとうございました。

## 「留学への架け橋」名古屋大学i留学支援制度を創設

本学は、コロナ禍に直面する以前は、200以上ある世界中の協定校に、長期の交換留学や短期留学の学生を送りだしていましたが、2020年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの学生が留学を断念せざるを得ない状況となりました。

このような状況下でも、学生たちの海外で学ぶ意欲を低下させないように、新たに始めた取組が「i留学」です。「i」には、「私」の意味に加え、「international」、「intercultural」、「integration」などの意味も含んでいます。

学生は今、海外に渡航できる日を信じ、国内に留まりながら、海外協定校等の授業等を受講し、海外ならではの授業や海外でしか受講できない専門的な知識を身につけるとともに、留学気分を味わいながら、留学に必要な語学力の向上に励んでいます。

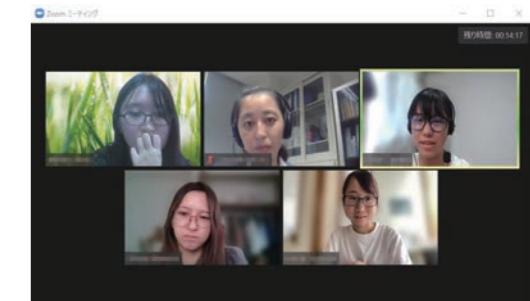
コロナ禍で経済的にも厳しい学生も多い中、質の高いオンライン講義を受けるため、10万円を超える受講料を工面している現状があります。そこで、本学では、受講料の一部又は全部を支援する制度を創設しました。

この制度により、受講をためらう学生が、夢をあきらめず挑戦し、その先に見える明るい未来を学生とともに見つめていきたいと願いつつ、i留学支援制度の充実を進めていきたいと考えております。何卒この活動の趣旨をご理解いただき、多くの方のご協力を賜りたいと考えております。

### 【現時点におけるi留学参加学生数】

大学名	研修名	参加人数
Monash College	「Global Communication for Future Leaders(GCFL)」	17名
梨花女子大学	「2021 Ewha International Summer College(EISC)」	4名
アルバータ大学	「English for Science and Technology Online」	1名
同濟大学	「夏の短期中国語研修プログラム」	24名
中国科学技術大学	「より良い生活のための科学技術」	3名
中国科学技術大学	「FUSEP2021S02 Science and Technology towards a Better Life」	1名
浦項工科大学校	「How is the Sport Industry Evolving with Digital Transformation?」	1名

\*上記研修も含め、全体で73名が受講中、若しくは受講を終えている。(2021年8月31日現在)



Monash College(オーストラリア)のオンライン研修の事後授業風景

### 【i留学に参加した日本人学生の声】

経済学部 1年 Nさん

研修先：Monash College (オーストラリア)

研修プログラム名：

Global Communication for Future Leaders

研修期間：2021年8月9日(月)～8月27日(金)

いろんなバックグラウンドを持った、いろんな国の人との素敵な出会いがあり、毎日新しいことの挑戦で、いい刺激を受けました。なかなか思った通りにできなくて、話せなくてオンラインという誰にも近くでの助けを求めることができないと苦しいこともありましたが、本当に一日が濃くて楽しかったです。現地には行けなくても、オンラインでは、また違った学びができる、思わぬ収穫があります。ぜひ、挑戦してみてください。楽しんで！

